

地域住民はもちろん、市民よりも駐車場増設の強い要望が多いのであります。現状では、せっかくのりっぱな公共施設がありながら、地域住民より強い不満が出ているのが現状であります。こういう現状を見ると、通学児童の事故発生が起きてからでは遅いので、早急な対策が必要であります。

付近民有地の借用による駐車場設置、また、立川市に見るところの市役所、市民会館併用の立体駐車場―三層四階フロア、八階建ての二百五十台収用の駐車場がありますが、これらも今改めて、検討、実現化に向かって市長の大英断を心より熱望するものであります。

実行するには、勇気と決断あるのみです。予算が伴うので、今日の不況状況下ですが、受益者負担を一考する必要があるのではないでしょうか。いずれやらなければ解決しない大きな問題であります。関係機関とも十分御討議され、一

日も早い実現が望ましいことでございます。市長として対策を検討し、善処するお考えがありますかどうか、明快なる答弁を心より願います次第であります。

二項の二、駅周辺駐輪場の現況と今後の計画について、福生市内に駅が五カ所あり、駐輪についてはすでに先輩議員が一般質問をされ、市当局としても鋭意努力されているところであります。すが、拝島駅北口、福生駅東口、牛浜駅西、東口に大変な自転車があり、調査したところ、福生駅、牛浜駅については、高齢者事業団による午前六時三十分より九時三十分まで管理、整理に当たり、努力の跡が見られるのであります。が、いまだ交通上、付近住民はもとより、通行人は言うに及ばず、車で通る人々も含め、大変困っているのが現状であります。他市よりの通勤者も利用していることですが、近くの民有地利用を積極的にされ、受益者負担も今改めて検討すべきだと思います。

日野市の京王線高幡不動駅前設置された自転車、ミニ

バイクパーキングポストを検討するの一案かと思考いたします。昭和五十八年一月に設置されて以来、大変好評と聞いております。また、昭和五十七年五月十八日より二十日まで厚生委員会による行政視察、大阪府、茨木市駅前自転車対策の現況について視察をいたした今日、どのような方法で対策をなされたか、その経過について説明を求めますのであります。

以上、一般質問とし、市長初め担当部長の心からなる御答弁をお願い申し上げます。

(市長 田村匡雄君登壇)

○市長(田村匡雄君) 赤星議員さんの御質問にお答えいたします。

第一点目の幼児教育についてでございます。

幼稚園教諭の質向上を図るための研究費補助についてお答えいたします。

御指摘のように、福生市においては一〇〇名私学の法人また

は篤志家、もしくは団体による私立幼稚園に幼児教育を担っているところであります。日ごろ、多大な御尽力を賜っているところでございまして、ham立幼稚園を持ちません福生市といたしましては、私立幼稚園の持つ意味は大変大きいわけでございます。今後とも、健全な幼児教育の場の提供をお願い申し上げます。

ただいま御質問いただいておりますところの、幼稚園教諭の質の向上を図るための研究費の助成につきまして、都下の多くの市では、幼稚園教諭の研修について、幼稚園協会または直接幼稚園に補助をしているようにございます。

このような補助を実施していくようになった経緯については承知しておりませんが、公立幼稚園との均衡の問題、幼児減少による定員割れの問題、補助を先行する近隣市町との関係等、いずれにいたしましても、各市における幼稚園を取り巻く環境の変化によるものと思われれます。

福生市における幼稚園を取り巻く状況も、必ずしも良好なものではなく、徐々に園児数の減少が見られますことから、幼稚園を取り巻く諸条件の悪化や補助の要望の実態等を見ながら、今後、十分に検討させていただきたいと思っております。

次に、幼稚園施設設備に対する長期低利融資制度についてお答えいたします。

さきにも触れたところでございますが、市内の幼稚園のうち、一園につきましては昭和五十八年三月に学校法人となりましたが、学校法人化前の三年間、相当額の補助金を受けております。学校法人化前に補助が考慮されますのは、施設等の法に適合する整備等のためでございます。学校法人になりますと、さらにその額が増額される見込みでございます。

他の二園につきましても、学校法人化を目指す園として指定を受け、同じく補助を受けております。

また、御案内のように、私学振興財団法により財団が設

立されておりました。私立幼稚園についても、施設設備資金について長期低利の貸付制度がございます。これは個人の幼稚園でも貸し付けが行われ、将来、学校法人化された時点では、法人にその負債を引き継ぐことができるのでございまして、多くの場合に御利用いただいているようでございます。

さらに、福生市内の幼稚園は、学校法人の場合は、園舎の建てかえや増築について、いわゆる防衛補助による障害防止工事も可能でございます。

かような点を考慮いたしまして、融資制度についてはなお時間をかけて検討させていただきたいと思っております。

次に、公共施設周辺の駐車、駐輪施設についてでございます。

第一点目の、牛浜地区における施設周辺駐車場の現状と今後の計画についてお答えいたします。

市の中心に位置しております牛浜地区には、文化の殿堂でございます市民会館、公民館を初め、福祉会館、野球場

などの公共施設を数多く設置させていただいております。市
といたしましても、これらの施設を十分に活用し、多くの事
業をするとともに、広く市民の方々に利用していただい
てお
ります。

しかし、これに伴う十分な満足していただけるだけの駐車
スペースがございませんので、付近の方々には何かと御迷惑
をかけております。駐車場としての十分な役割を果たすに
は、施設の近くにあり、いつでも駐車できることが理想では
ないかと考えますが、現在の市の実情を考えますと、非
常に厳しい状況でございます。

しかし、近隣の方々への御迷惑、他方面からの要望などを
考慮し、前向きに検討をしてみたいと考えております。
次に、第二点、駅周辺駐車場の現状と今後の計画について
お答えいたします。

駅周辺の自転車の駐輪場の問題は、道路機能の障害、

危険性、防犯上の問題や市民生活のモラルの問題等を含んで、
大変重要な問題と考え、その解決に向けて努力いたしております
ところでございます。

現状について御説明申し上げますと、市内五つの駅周辺に
約三千台の自転車が集まっております。そのうち約六割、一千
八百台程度が駐輪場として指定した場所に入っております。
残りの約四割、一千二百台が路上等に置かれております。

現在進めておりますのは、まず何よりも、置き場を確保したい
と考え、鉄道や地主の方々と再三協議し、お願いしているところで
あります。また、警察も防犯上の点から協力してくれています。が、
何分にも駅周辺のよい土地ということで、なかなか解答がいただ
けず、苦慮しておるところでございます。また、使用者のモラ
ルといった点から、撤去も昨年度中で十回、七百台を撤去いた
しました。が、引き取りに来ないものが百八〇に上っております。
指導の方も、ことしから四名の高齢者の方に朝三時間お願いし

ているところでございます。

今後の計画につきましてですが、現在、関係部課長による調整会議の中で、長期的計画をつくらせております。各駅ごとの借地、買収を含む用地、立体型を含む施設、有料化を含む管理運営、条例化の問題等を検討させておりますので、当面の対応とともに、その結論を待って進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

細部につきましては部長から答弁をいたさせます。

○市民部長（井上久男君） それでは、市長の補足答弁をさせていただきます。

一番最後にあります駅周辺の駐輪上の現状と今後の計画という中で、昨年からの実績はどうかというような御質問でございます。

昨年からことしにかけての対策につきまして、まず、用地交渉でございますが、国鉄にお願いいたしまして、牛浜駅の西

口、これは駅前広場でむずかしいということであつたんですけれども、可動性の仕切りならばということで、設置については黙認のかわりで置かさせていたいております。

東口につきましては、現在、高齢者事業団によって整備し、若干の線は引いておりますが、その程度でせざるを得ないということなことでやっております。

なお、その周辺の空地につきましては、交渉を継続しております。鉄道も、国鉄の本社あるいは西鉄局等でございます。

さらに、福生駅西口、東口につきましても、東口につきましては、御存じのとおり、相当な台数が置かれております。それで、現在の西友で借りております踏み切り際の駐輪場、これにつきましては西友から一時借用したようなかわりでその土地に駐輪させております。そのほかの土地についても、現在周辺の土地を地主さんに交渉しているのが現状でございます。

さらに、西武拝島駅につきましても、現在、駐輪場を西武鉄

道から借りておりますが、その周辺にさらに拡張整備の交渉をしているところでございます。さらに、それは福生市のみならず、昭島市とも協議をした中で進めている段階でございます。用地あるいは施設の新設段階で、受益者負担を考えて導入をしなければいけないというような御質問でございますが、これについては調整会議の中でさらにする協議し、具体化したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

以上、はなはだ簡単ですが、駅周辺の駐輪場の現状等における質問についての市長の補足答弁にさせていただきます。

○五番（赤星行人君） 再質問を自席からお許しいただきますか、と思います。

一項の一番によりますところの、幼稚園の先生方の研究費助成についてでございますが、ただいま市長から、大変ありがたい御理解ある前向きな御答弁をいただきましたが、その中で一言、私なりに感じたことをつけ加えておきます。

三多摩地区に二十六市ございますが、その中で、すでに二十三の市が幼稚園教育の助成費という形で出ております。また、四所の中で、一町だけ出ておるのが現状でございます。そういうことも踏まえて、前向きな御答弁をいただきましたので、この件につきましても要望としてとどめおきます。

それから、第一項の二つ目の長期低利融資についてでございますが、いろんな事情があるかと思えます。市の財政上の問題もあるでしょう。また、幼稚園サイドでも、最善の努力をしながら、自分たちの生き残るべき道を活路を求めていくのも一方法だと私も信じております。

しかしながら、幼児教育の場において、みずからの手でこの福生市の将来に活力ある人材の養成をするために努力をしておられる方々に対して、できるだけ早い時点にこの制度をつくっていただいて、すぐに四園が一週に必要とするわけでもございません。しょうし、他市の状況も御理解、御検討いただいて、ぜひともそ

ういうような実現化に御努力をいただくよう、心からお願いをするものでございます。

この一項の一と二の中で、私が去る八月の二十八日、世田谷区の社会教育委員の方とお話ししました。六時間、午後の八時から翌朝午前二時まで、六時間幼児教育の問題について討論した中で、大変感心したことは、プロジェクトを組んでこれからの幼児教育を考えていかなければならないということの中で、幼稚園教育を考える前に、おなかの中に入っているときの胎教、それから乳児期、それから幼児期、この三つの観点から今後の教育を考えていく段階に来ているのではないかとということで、世田谷区ではプロジェクトを組み、お互いに大所高所に立って、役所のセクションを乗り越えて、これからの大きな財産であるところの子供の育成に努力をするというようなことを漏れ承りました。

当福生市におかれましても、どうかそういう見地に立って、どうか今後のこの福生市の将来を担い、また、日本の将来を担

うところの子供たちのために、皆様方の御理解ある御判断によりまして、大所高所に立った、御理解ある教育のあり方をお考えただきますよう心から要望しておきます。

それから、第二項の公共施設に関する問題でございますが、この件につきましても、大変心暖まる御答弁をいただきました。地域住民に対する御理解ある、また、大変迷惑をかけているということでございます。御理解をいただいたので大変うれしく思います。高校野球の例をとりまして、ちょっと内容を御説明申し上げます。

野球があるときは、高野連の方では、ともかく車に乗ってきては困るという、また、教育委員会においてもそういうような通達を出し、極力野球の応援に来る方たちに鋭意そういうことを指示しておるようでございますが、なかなかモラルの問題がございいます。これは、やはりピールをより以上きめ細かくやっていく必要もあるでしょう。また、地域住民の感情も十分に心して、これか

らの行政、また、周辺の駐車場についても十分御理解をいただきたいと思ひます。

市民会館の周辺におけるところの行事があるとき、現地を
ごらんになっていただければよくおわかりだと思ひますが、五日
市街道の両サイド、これは八高線から福祉社会館の終わる近所
です、この周辺に至るところは、両サイドびっちり車の不法
駐車でございます。警察もたまに来て、レッカー車を持ち出
して持っていつていようなのを、私も何回か現地で見ました。
そういう中で、これからの市長初め行政サイドの皆様方が
やろうという意欲があるかないかによって勝負が決まると思ひ
ます。どうか、そういう意味において、一日も早くできるように
要望をいたしておきます。

それから、駐輪場の問題でございますが、私も福生の市民
として、駐輪場はどうなっているだろうかということ、八月の
二十二日、町会でちょうどラジオ体操がございまして、三十日ま

でやったわけでございますが、その中で、朝早く起きて行って、ラ
ジオ体操が終わるのは、大体六時四十分でございます。終わっ
た後、その足で牛浜駅の西口とそれから東口の現地を調査いた
しました。

高齢者事業団の方々が、本当に一生懸命お掃除をしたり、
そして、一生懸命自転車の整とんをなさっておられました。西
口においては、八十九歳の高齢者の方が、みずからほうきを持っ
て、清掃に専念しておられました。大変頭の下がる思いでござ
います。お名前を申し上げます。高水富作さんとおっしゃ
る方でございます。そういう中で、これから、高齢者事業団の方
々に働いていただく場も必要でございますが、近隣の方々が
大変困っているのが実情でございます。

また、拝島駅の北口につきましても、現地を調査したところ、
立て看板がちやうど三カ所ございました。それで、線引きの上
に自転車がつくと並んで置いてありました。現地をごらん

なっておられるのでよくおわかりかと思えます。

たまたま私、現地を見に行ったときに、平和橋という橋がございます。あの所をニトンのトラックが通ったときに、ちょうど個人の民有地の駐車場がございます。フェンスが張ってあって、その所にやはり自転車かずらつと並んでいるわけですね。大きいものですから、なかなか一回で切りきれない。そこへ子供さんをおぶつた親御さんが通ったと。危なくひかれそうな感じを見受けたわけでございますが、そういう実態を見たときに、やはり大きな事故が起きてからでは私は遅いのではないかというふうに受けとめました。

そういう意味において、行政サイドでどの程度お考えになつていいのか。先ほどの市民部長の答弁の中にもございました。市の方としても鋭意努力しておられる姿はよくわかります。民有地の借り上げ、これもなかなか相手のあることです。大変だと思えます。しかしながら、努力することによって相手にやはり

誠意が通じるのではないかと。自分の人生体験の中からはっきりと言えるところだと思つて、確信しております。どうか、誠意を持って事に当たつていただきたいことをお願いをするものであります。

また、九月の七日に読売新聞に載つていたのを、ちよつとこの席で御披露させていただきます。

町田に駐輪場専用ビル建設、二千台収用で、来春開業。町田市は本林野一丁目、西友裏の自転車置き場の一角に、隣の神奈川県相模原市と共同で、自転車専用駐車場ビル、鉄骨地下一階、地上二階建て、延べ千五百平方メートルを来年三月末までに建設することになった。同四月オープンを目指している。収用能力二千台、総工費一億三千五百万円は、自転車振興会や自転車駐車場整備センターの補助を受けるほか、両市が二千百二十五万円ずつ出し合ふ。完成後は有料の予定、ということが出ております。市理事者側の方でこの新聞がお目にと

まったくかわかりませんが、私は、たまたま多摩版を見ておりましたら目にとまりましたので、いいのが手に入ったなと思っております。

こういうことを踏まえて、自転車振興会というのは、私も仕事の関係でよく知っておりますが、自転車駐車場整備センターというのがあるというのは、この新聞を見て、不勉強でありましたけれども初めてわかったわけでございますが、理事者側ではこういう制度があるかどうかについて御承知だったのかどうかちょっとお尋ねいたします。

○市民部長（井上久男君） それでは御質問にお答えいたします。整備センターの存在ということでございますが、これについては聞き及んでおりますが、具体的にこれの自転車振興会、あるいはそういう所と直接交渉を持っておりますので、内容については、大変不勉強で申しわけないんですが、お答えできません。以上です。

○五

番（赤星行人君）

ただいま市民部長から御答弁がございました。

ただいま行政サイドとして、やはりやるやらないは別として、そういう制度があるということも認識することによって、前向きに仕事ができるんじゃないかというふうに私も受けとめますので、どうか今後とも、鋭意自転車の駐輪については、いろんなケースがございます。大変むずかしい問題であります。しかしながら、時代の流れとともに、要求でございます。事故が起きてからでは、私はやはり取り返しつかないと思います。そういう意味において、どうか御理解ある御判断と決断を持って、また、勇気を持ってひとつ行政サイドはこのことに臨んでいただきたいと思います。

いろいろと大変私のために御理解あるお時間をいただきました。以上をもって質問を終わりにいたします。ありがとうございました。

○議長（田村市郎君） 次に、十一番 原 敏子君。